



明保だより

令和7年9月5日 第5号
宇都宮市立明保小学校
発行者 小川 史子

目指す児童像の合言葉 **元気 やる気 勇気 思いやり**



「ウサギとカメ」のお話で伝えたいこと

夏休み明け集会で子供たちに話をした内容をお伝えします。誰もが知っている「うさぎとかめ」ですが、この話の教訓は「能力があっても油断は禁物」「コツコツ努力すればいつか報われる」というのが一般的な解釈だと思います。この話を借りて、子供たちに自分のよい所を見付け自己肯定感を高めてほしい思いを伝えました。

みなさんは『ウサギとカメ』のお話を知っていますね。そう、ウサギとカメが山のふもとまでかけくらべをし、カメが勝つお話です。

ところで、『ウサギとカメ』のお話で、「どうしてウサギは負けたのでしょうか」とみなさんに聞くと、だれもが「途中でウサギが居眠りをしてしまったから…」と答えますが、本当はそうではないのです。実はこのお話には別の意味が隠されているのです。もともと、ウサギとカメでは、生まれたときからくらべものにならないほど、走る速さは違っているのはわかっています。その二匹にどうして速さくらべをさせたお話にしたのでしょうか。そこには、みなさんにぜひとも知ってほしい大切なことが含まれているのです。

カメは自分が遅いということはちゃんと知っていました。しかし、自分の目標をウサギに勝つことではなく、山のふもとまで行き着くことにしました。そして、目標に向かって最後までがんばる自信があったのです。

一方、ウサギはカメに勝つことだけに目標をおきました。ウサギは自分の足の速さを自慢するくらいですから、楽勝だと思っていました。そして、自慢する気持ちが油断となって、「居眠り」をしてしまったのです。

カメは自分の能力とウサギの能力を決してくらべませんでした。もし、「速さ」ということでウサギとくらべたら、「かなうはずがない」と競争はしなかったでしょう。しかしカメは、自分はゆっくりでも最後までがんばれるというよさを信じて競争に臨んだのです。

みなさんも、勉強のことや運動のことで、友だちとくらべたりしないで、自分のよさを十分生かして努力してください。

～「いじめゼロ強調月間」における学校での取組～

本校では毎年5月と9月に「いじめゼロ強調月間」として様々な取組をしています。もちろん「いじめゼロ」は年間を通して指導していますが、5月と9月は特に意識を強めるために学校全体で実施している内容がありますのでご紹介いたします。

- (1) いじめゼロ強調月間スローガンの掲示「いじめゼロ しない 負けない 許さない」
- (2) いじめゼロリボンの着用（5月からの継続）
- (3) いじめに関するアンケート調査の実施
- (4) 「いじめ」「思いやり」「生命の大切さ」に関わる内容を含んだ道徳の授業
- (5) いじめゼロ集会の実施 9月19日（金）
- (6) 放送委員会による放送（給食時に放送をし、いじめゼロを呼びかけます。）
- (7) いじめゼロ標語の作成と掲示

いじめは絶対に許さないという強い思いで、しっかり取り組んでまいります。



学校の様子 ～明保小HPから～

(日々更新していますのでHPもぜひご覧ください。)



7月26日(土)アジサイ剪定

朝8時から、今年も地域協議会主催の「アジサイ剪定」が行われました。地域協議会長の山崎様、アジサイ部会長の渡邊様からご挨拶をいただき始まりました。大変暑い中、毎年参加してくださっている地域のボランティアの皆様、親子で参加してくださった方々、PTA文化委員会の皆様、本当にありがとうございました。また地域協議会アジサイ部会の皆様、早朝より準備や後片付け等、大変お世話になりました。来年に向けて、また見事なアジサイが花開くことを願っています。



8月12日(火)エアコン工事

夏休み前から始まったエアコン工事ですが、いよいよ夏休み中にすべての教室の入れ替えと今まで無かった特別教室の設置が完了します。業者の方々は連日猛暑の中、作業してくださりありがとうございます。中でも今まで設置されてなかった理科室、図工室、家庭科室にエアコンがつき、夏休み明けの授業から暑さを気にせず使用することができます。本当にありがたいです。

ありがとうございました。「PTA 親子奉仕活動」

8月30日(土)朝7時から、たくさんの子供たち、保護者の皆様のご協力により、PTA 親子奉仕活動を行いました。(児童120名、保護者112名、合計232名)長い夏休みの間にほこりをかぶった校舎や雑草が伸びた校庭も、お陰様で見違えるほどきれいになり、子どもたちは気持ちよく学校生活をスタートさせることができました。ありがとうございました。

